



建築物総合環境計画概要書 新築

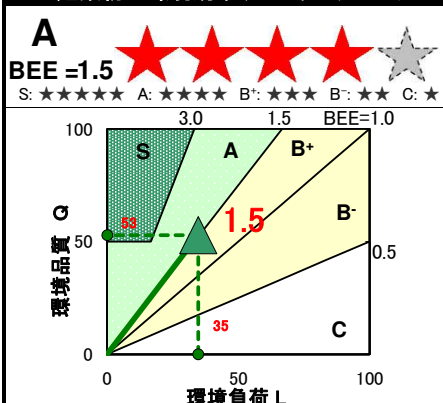
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

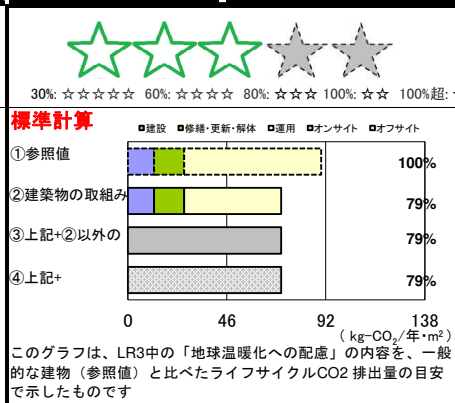
建物名称	大阪教育大学(天王寺)合築施設(仮称)
建設地	天王寺区南河堀町
建築用途	大学・事務所
建築主	
設計者	
敷地面積	4,527.35 m ²
建築面積	704.30 m ²
延床面積	6,066.79 m ²
構造/階数	S造 / 地上10階
完了年(予定)	2023年12月

1-2 外観

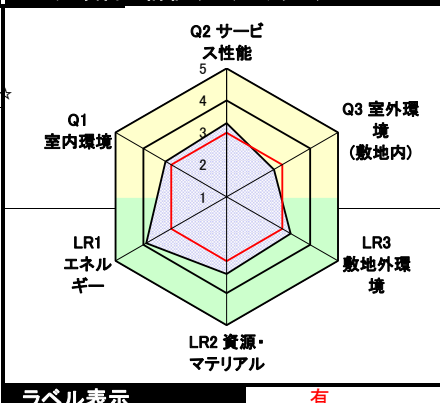
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

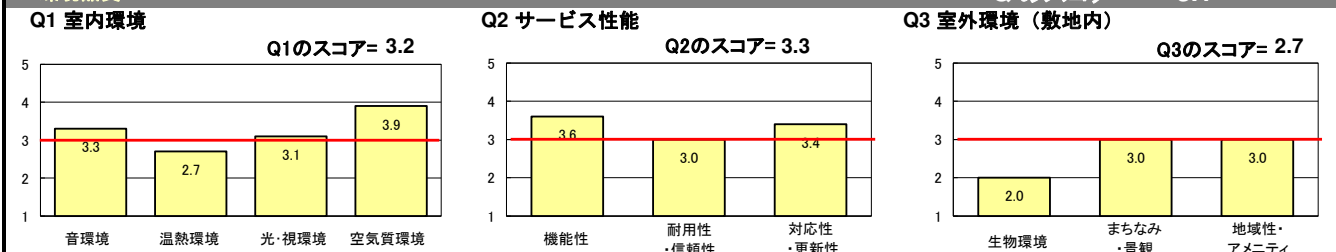


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

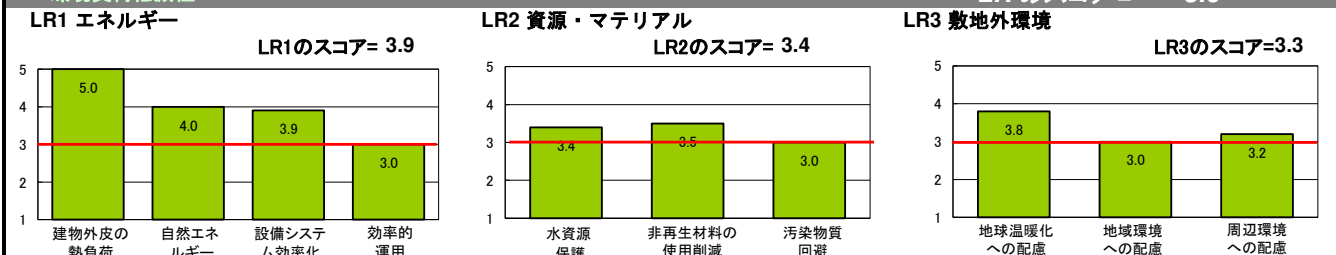


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 建物全体の熱負荷を抑えた外皮計画や高効率設備の採用と、空間の可変性を備えた、環境性に優れた建物としている。	その他 特になし
Q1 室内環境 外皮性能の向上、ハイサイドライトを用いて昼光率を確保するなど、室内環境に配慮しつつ、ホルムアルデヒドの放散量が極めて少ない建材の採用や自然換気性能を確保し、空気質環境を高めている。	Q2 サービス性能 維持管理に配慮した設計、階高の確保等により建物の機能性を高めるとともに、耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性・信頼性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内) 特になし	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 外皮性能の向上を図るとともに、高効率の空調設備やLED照明を採用し、エネルギー消費の低減に務めている。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、節水便器やリサイクル建材を導入し省資源に取り組むとともに、内装壁のLGS工法や事務室のOAフロアの採用により将来の部材再利用可能性向上にも配慮している。
LR3 敷地外環境 運用に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮している。	LR3 敷地外環境 運用に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.8 LCCO2 21%削減
配慮事項	省エネ対策により運用時のCO2排出量を削減

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0 BPI=0.69
配慮事項	屋根の断熱、複層ガラスの採用により外皮性能の向上に配慮した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.9 BEI=0.71
配慮事項	高効率パッケージエアコン、LED照明の採用

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分 (品確法等級) 非住宅部分[BPI][BEIm]
 - (相当) 0.69

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 住宅部分[BEI] 非住宅部分[BEI][BEIm]
 0.71 - 0.71